

学校評議員運用に関する報告書(1学期)

月 日	意見を求めた事項	評議員氏名 (敬称略)	意見の概要	処 理
7月5日に 提言シート の提出を依 頼。  締め切りは 7月31日  3名の評議 員全員から 提言シート の提出があ った。	①令和5年度学校 評価報告書につ いて	評議員	現在の進学制度を考えると、テストの点数にこだわる学力向上は必要であるが、将来生きる力の育成を考えると、思考・表現の力の育成等にも取り組んでいただきたい。	新学習指導要領の思考・表現の力は、これから将来を生きる子どもたちにつけたい力であるので、授業の中で育めるように取り組んでいく。また、それとともに点数にこだわることも大切にしていく。 同様に教授型から参加型へ、授業の創意工夫を研修等で広めていく。 生徒と良い距離を保っていく。
		評議員	英語教育について小学校の英語学習内容等も比較検討し、小中一貫した英語教育のシラバスを充実していてもらいたい。一方的に伝えるのではなく、生徒参加型の学習を増やし、考える力をつけていてほしい。	
		評議員	教師と生徒の距離が近く先生に何でも話しやすい環境になっていると思う。	
	②部活動の地域移行について	評議員	一気に移行するのは難しいと思うが、地域人材の活用という視点で部活動指導の改善につながる方法の検討が一つの方策ではないか。	地域移行を一気に進めることは難しいと思うが、地域人材の活用等方法を今後教育委員会とともに検討していく。
		評議員	地域の人の専門知識を教えてもらうことによって、世代間でのつながりができて村の活性化に	

		評議員	もつながると思う。 先生方の時間外を考えると、地域に頼ることも考えていく方が 良い。	地域との連携を今 後考えていく。
	③学校行事について	評議員	体育大会のプログラムについて、競技的な種目が少ないと感じる。	体育大会についての意見として報告し、今後の参考に する。
		評議員	学校行事がなくなっていき、色々な経験が少なくなってしまうのは残念。しかし、学校行事に参加できない保護者がいたり、協力できない事情があるのも事実。その都度、保護者の意見を聴きとり行うように対応する。	行事に参加できな かったり、協力でき ない方にもそれぞ れ事情があること は理解している。参 加しやすいように考 えていきたい。
	④その他	評議員	先生方の決められた中で生徒たちをおきすぎだと思う。 PTA 活動の多くが縮小されているが、保護者はそれほど負担に感じていない。 学校と家庭の距離が離れていくように感じる。	生徒の目線に立ち 見ていくようにする。 PTA 実行委員会等 で縮小されすぎて いると感じるか、復 活したい PTA 活動 があるか等を確認 してみる。
		評議員	PTA 活動等について、学級懇談で説明するような機会をもう少し作ってもいいかなと思う。	懇談会で話題にし たりできるようにし てみる。

1. 評議員氏名欄には意見を求めた評議員の氏名、または会議の場合は会議と記入する。
2. 意見の概要の欄には、会議の場合、最初に(評議員名)を記入し、その後に意見の概要を記入する。
3. 処理欄には、意見を求めた後の処理(職員会議へ報告、文書で職員へ周知等)を記入する。